

## 令和5年度（第29期）大学コンソーシアム連携講座（案）

No	講座名	趣 旨
①	豊かな人生を育むために 「食べる」、「話す」を支える口腔の大切さを学ぶ	<p>近年、口腔環境の悪化と、様々な全身の疾病との関わりに関する各種エビデンスが解明され、口腔の環境整備と口腔機能の維持、向上が、健康増進に寄与することが明らかになっています。また、口腔は、人生を楽しむ重要な要素である「食べる」そして「話す」ことに重要な役割を担い、その機能の維持は年齢に関係なく人生を豊かなものにしてくれるでしょう。これらの口腔の環境整備は、歯科医が小児期をはじめ、生涯にわたり患者に寄り添い、各種ライフステージに即した介入を行うとともに、患者自身も適切なセルフケアを能動的に行うことが重要です。本講座では、口腔の「食べる」そして「話す」に関わる機能と、全身との関わりについて全般的に学び、口腔の視点から、健康で、豊かな人生を育むために、何をすべきかを考えていきます。</p>
②	地域で自分らしく、健康に暮らす～地域包括ケアを「食べる」から考える～	<p>現在、少子高齢化社会の進行に伴い、高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で、自分らしく最後まで暮らせることを目的に、国策として各地域において地域包括ケアシステムの構築が進められています。地域包括ケアシステムは医療・介護・予防・住まい・生活支援などの様々なサービスを一体的に提供する体制で、様々な職種が関わりながら、各地域で体制づくりが行われています。</p> <p>そして、要介護高齢者が自分らしく暮らすために、様々な取り組みが求められ、専門職種が試行錯誤を繰り返しています。その取り組みの中で、「食べる」ことは、QOL(人生の質)を左右する重要な要素であり、栄養状態や免疫機能にも繋がるため、大きな課題の一つです。本講座では、「食べる」ことを維持するために必要な事項を各論的に学び、地域で自分らしく、健康に暮らすこと、地域包括ケアについて考えていきます。</p>